

横浜環状南線
釜利谷地区水生構造物附帯工設計

参考図

令和 6 年 5 月

東日本高速道路株式会社
関東支社横浜工事事務所

位置図 S=1:500
(釜利谷ジャンクション)

業務対象位置
人工池(ピオトープ)
「新ひょうたん池」

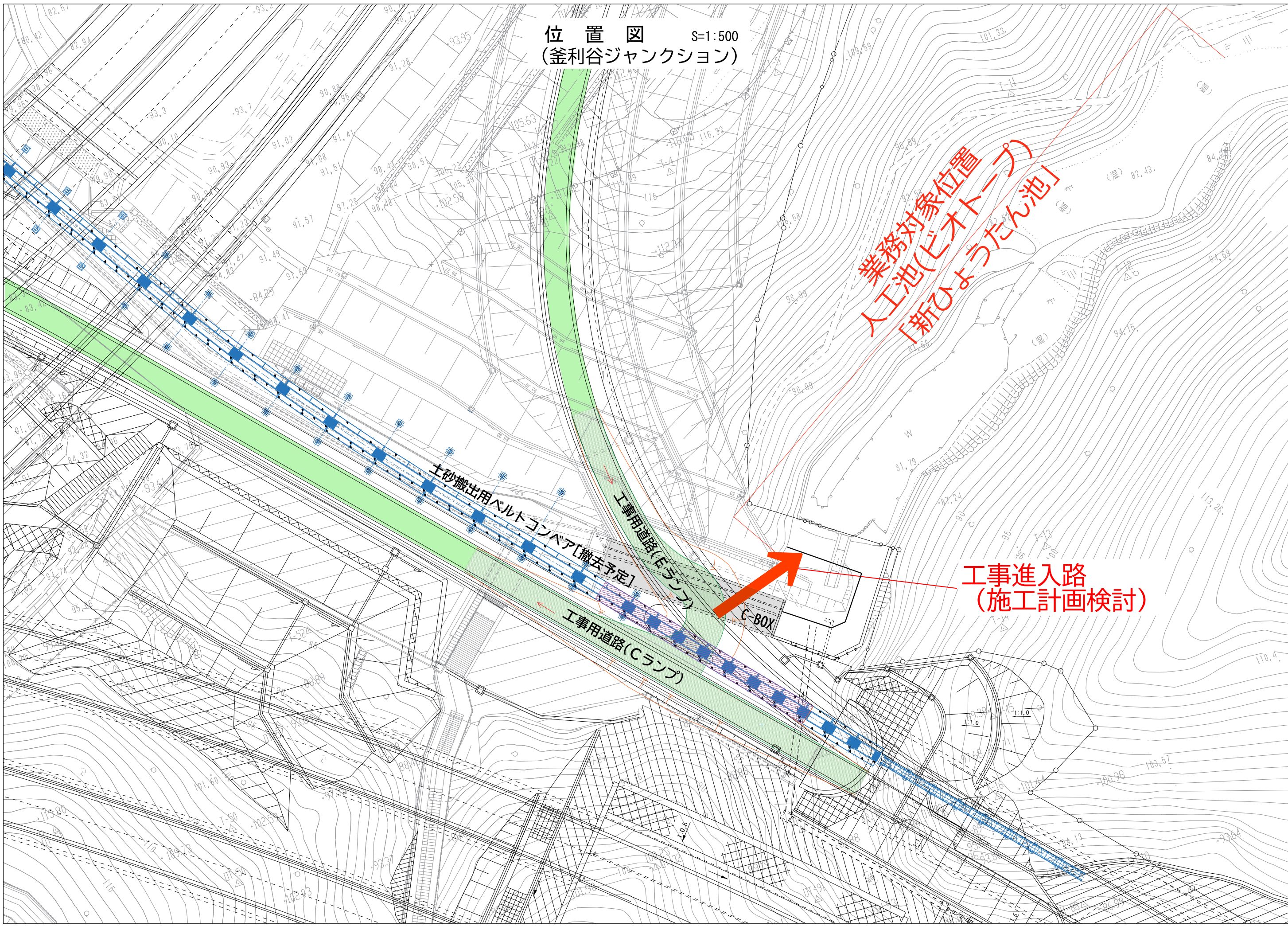
工事進入路
(施工計画検討)

土砂搬出用ベルトコンベア[撤去予定]

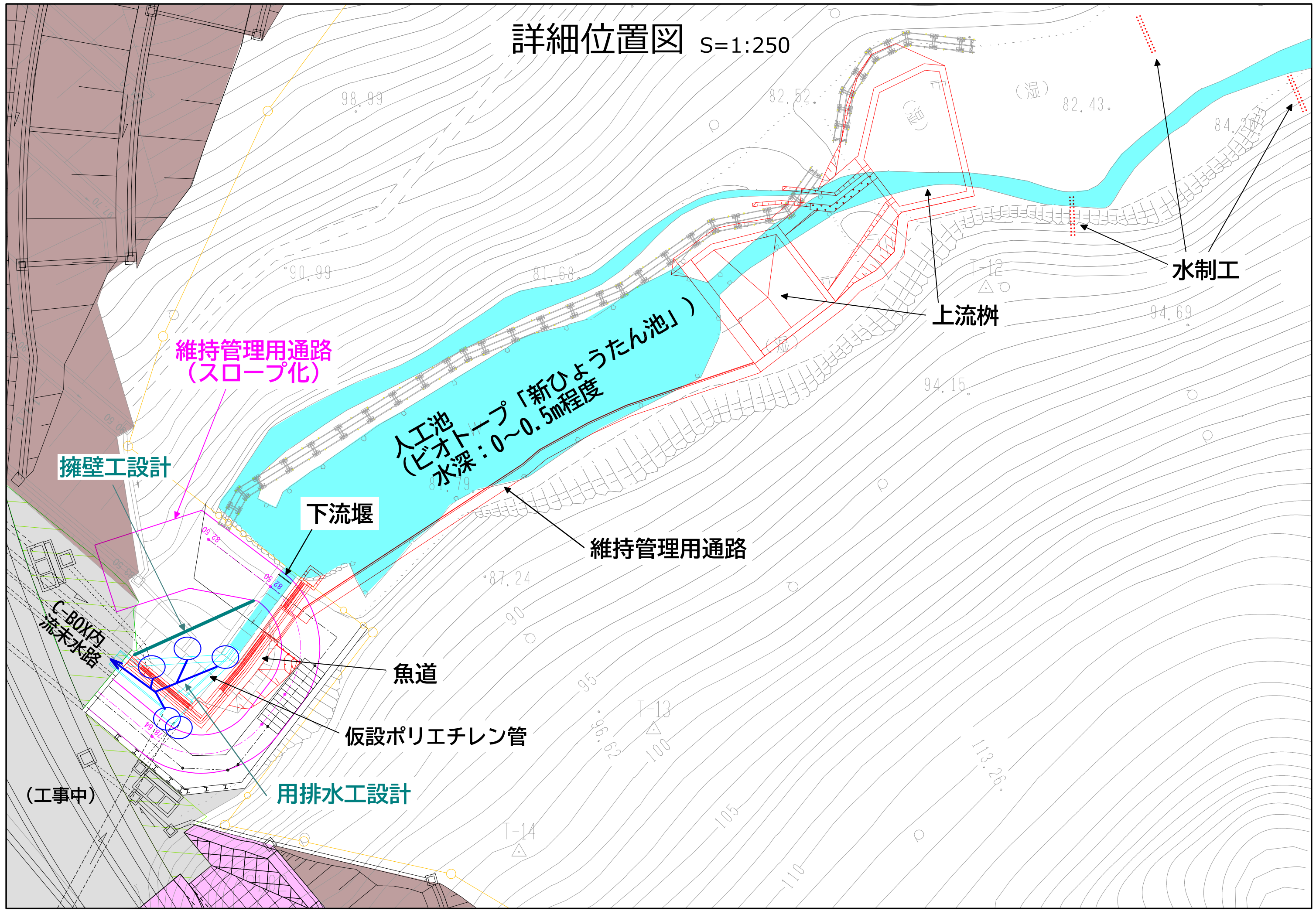
工事用道路(Eランプ)

工事用道路(Cランプ)

C-BOX



詳細位置図 S=1:250



維持管理用通路
(スロープ化)

擁壁工設計

人工池
(ビオトープ「新ひょうたん池」)
水深: 0~0.5m程度

下流堰

維持管理用通路

魚道

仮設ポリエチレン管

用排水工設計

(工事中)

C-BOX内
流末水路

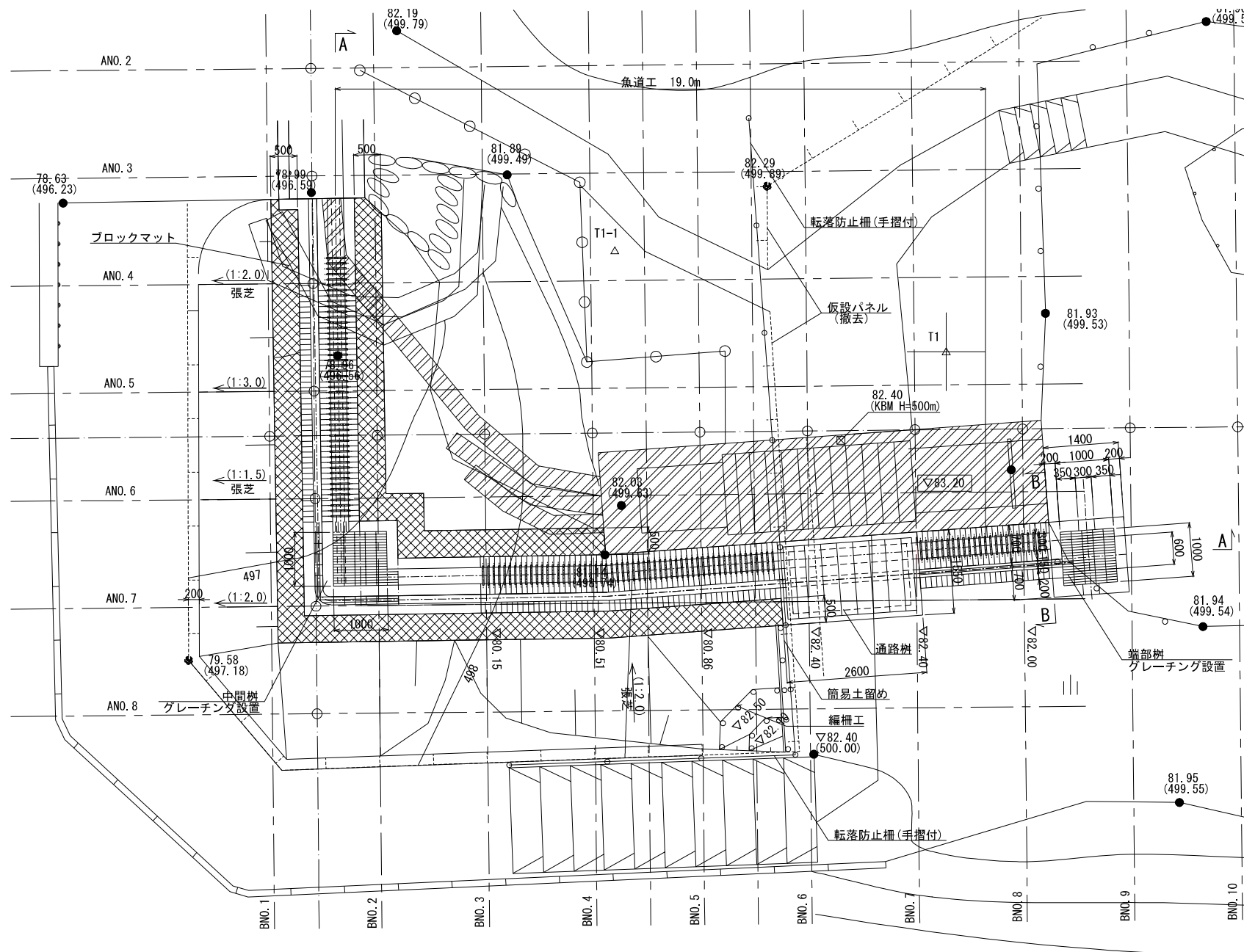
上流枳

水制工

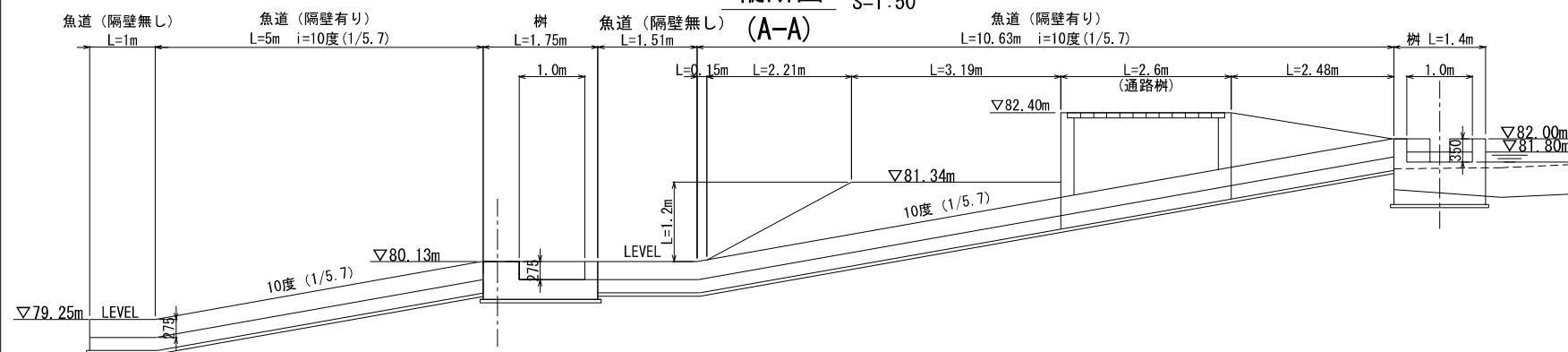
魚道工概要図

(既往設計)

平面图 S=1:50



縦断面図 S=1:50



【与条件】

- ①魚道工の勾配はホトケドジョウの遡上に適した構造・勾配とする
- ②魚道工は『平常時』『降雨時』の流量の変化に対応できるように上流端に樹と余水吐きを設置する
- ③魚道工へ流下する流量は、ホトケドジョウの遡上に適した流量とし、余剰分を余水吐きにより流下させる
- ④魚道工の呑口と折れ点には維持管理性を考慮し樹を設ける
- ⑤魚道工の高さは維持管理性を考慮して既往研究成果を踏襲し、平常時の新ひょうたん池水位『▽81.80m』を基準に設定する。
- ⑥既設遊歩道と魚道工が交差する部分は、既存の下流堰交差部同様、蓋掛け構造とする

【魚道工計画諸元】

計画勾配：10度（1/5.7）
設置位置：既設水路左岸側
形式：千鳥X型
水路材料：コンクリート
水路幅：300mm
水路高さ：275mm
隔壁材料：木材
隔壁間隔：10cm → 50cmに
隔壁高さ：5cm～10cm
流量：0.5L/s

【柵諸元】

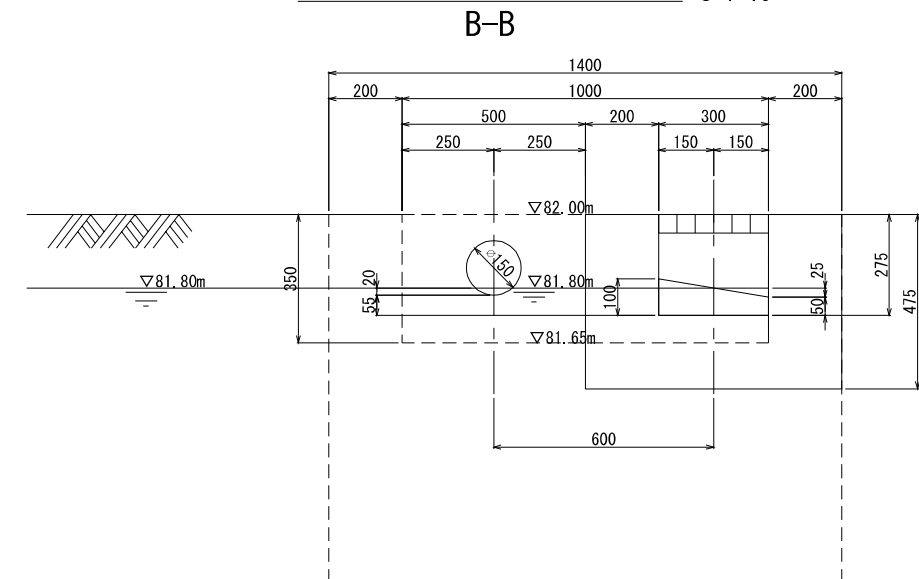
設置位置：魚道工上流端、折れ点
 柵寸法：1.0m×1.0m
 柵深さ：上流端 325mm、折れ点 275mm
 柵材料：コンクリート

【余水吐き諸元】

設置位置： 榑（上流端）
形式： 開水路
※流量調整の為呑口はφ150mmの円形とする。
流量： 0.8L/s（下流堰越流量1.3L/s-魚道工流量）
水深： 20cm（等流計算により決定）

※水路幅、水路高さ、隔壁間隔、隔壁高さは既往研究成果（ホトケドジョウに適した魚道の検討, 2008年）に準拠

魚道工・余水吐き断面図 S=1:10



注)図示の縮尺はA1出力時



	工事		
図面の種類	魚道工概要図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所		

S=1 : 100

(既往設計)

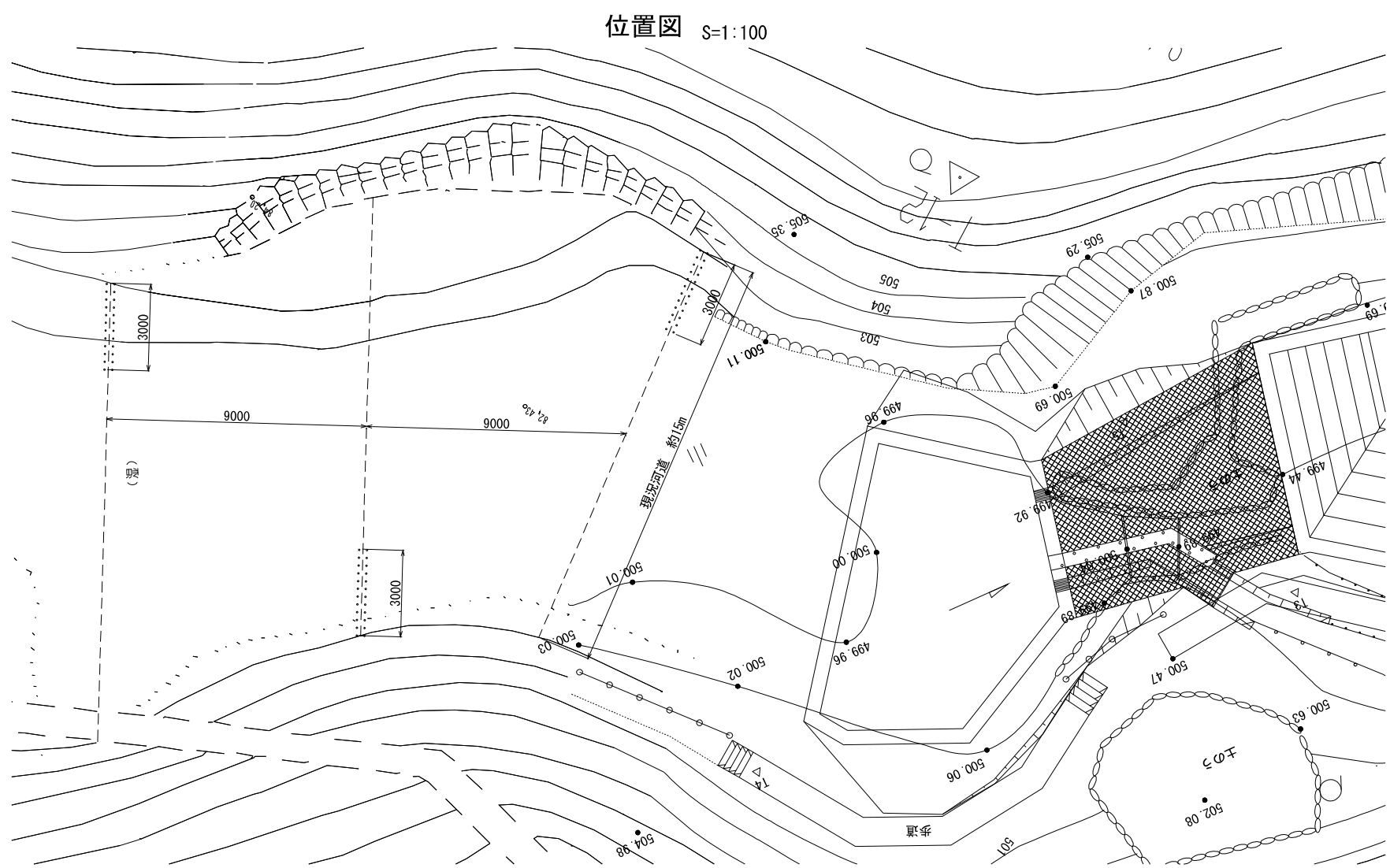


注)図示の縮尺はA1出力時

	工事		
図面の種類	上流樹概要図		
縮 尺	S=1/100	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所		

水制工概要図

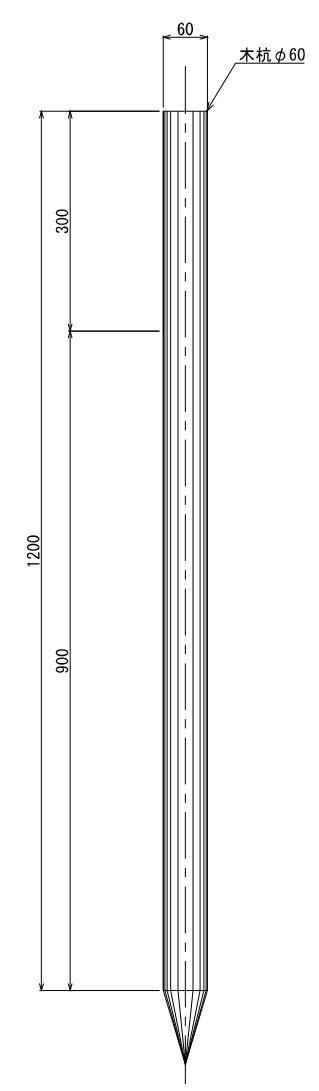
(既往設計)



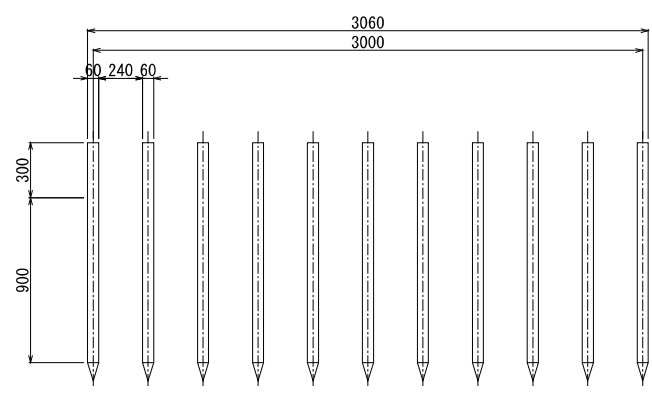
- 【与条件】
- ①設置位置は上流樹計画箇所より上流側とする
 - ②水制の構造及び材料は現地で加工可能なものとする
 - ③周辺景観に違和感のない材料とする

【計画諸元】
設置位置：上流樹～河道の湾曲点より下流側へ7.5m (0.5×15m) の範囲
形式：杭出し水制工 (透過型水制工)
杭径：60mm
杭間隔：杭径の3.5倍=210mm
水制長：現況河道15mの2割=約3m
吐出高：30cm
根入長：吐出長の3倍=0.9m

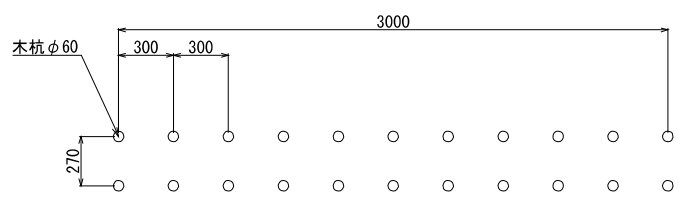
詳細図 S=1:5



横断面図 S=1:20



平面図 S=1:20



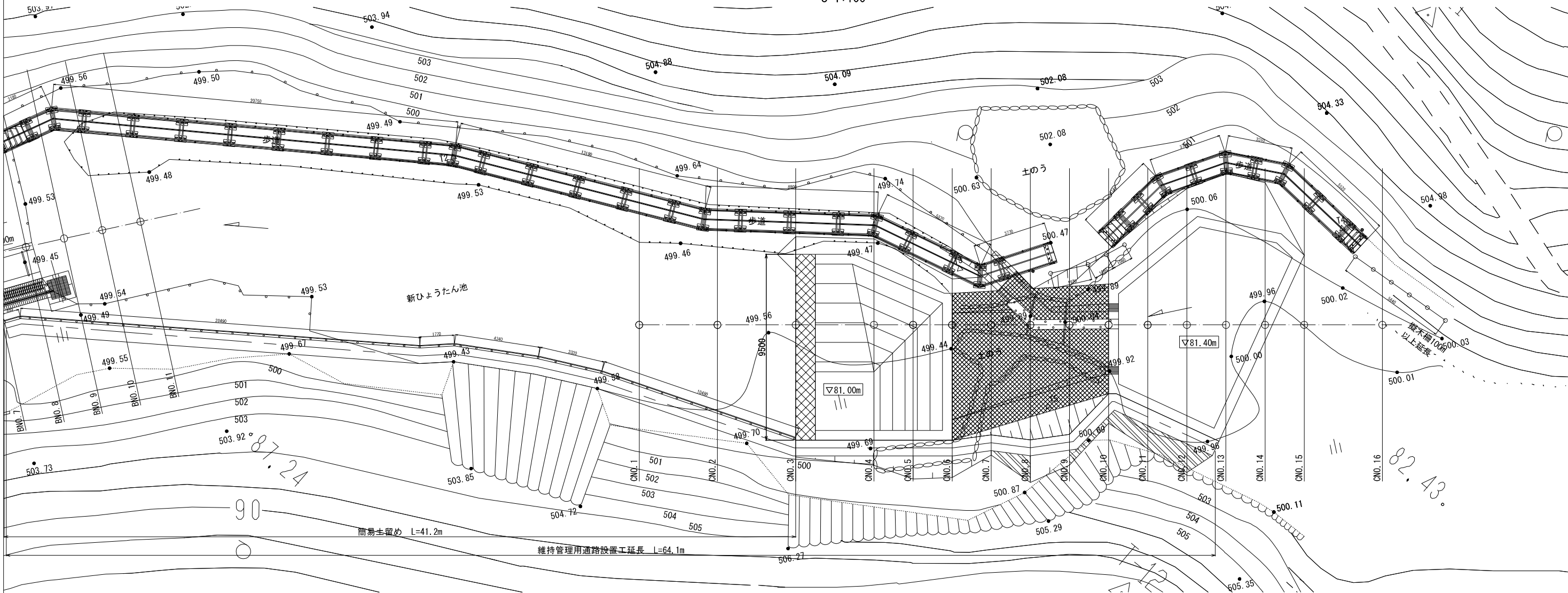
注)図示の縮尺はA1出力時

	工事		
図面の種類	水制工概要図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所		

維持管理用通路概要図

(既往設計)

平面図 S=1:100



標準断面図 S=1:50

CNO. 6

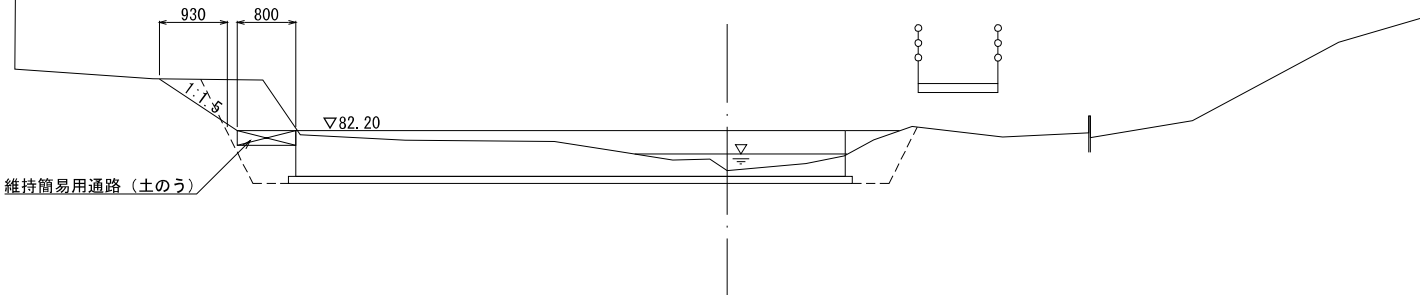
GH=499.26

【与条件】

- ①設置位置は既設簡易通路の存在する新ひょうたん池左岸側とする
- ②ヒメウキガヤの生育地を侵さない範囲とする
- ③管理用通路には左岸側からの土砂流入防止を目的に土留めを設置する
- ④小型の重機もしくは人力施工の可能な構造とする

【計画諸元】

幅員 : 0.80m (既設管理用通路幅を踏襲)
舗装構成 : 土のうによる簡易な通路
土留め構造 : 簡易土留め



注)図示の縮尺はA1出力時

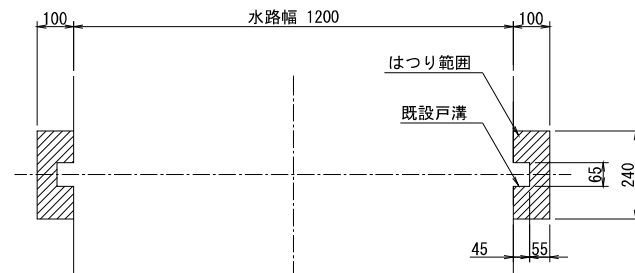
工事			
図面の種類	維持管理用通路概要図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	いであ株式会社		
事務所名			

下流堰構造図

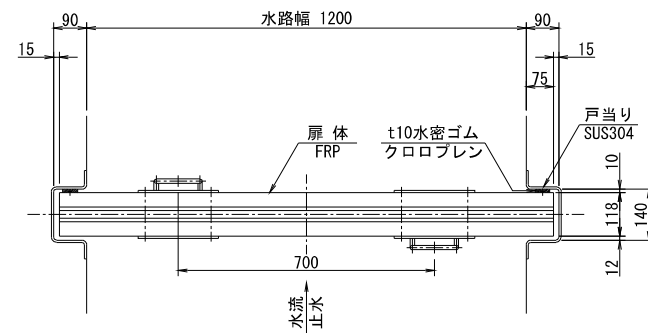
(既往設計)

平面图 S=1/10

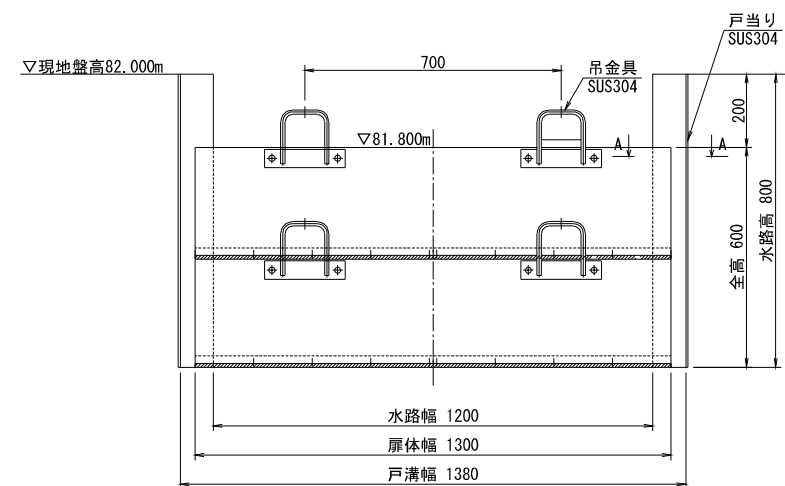
【既設構造】



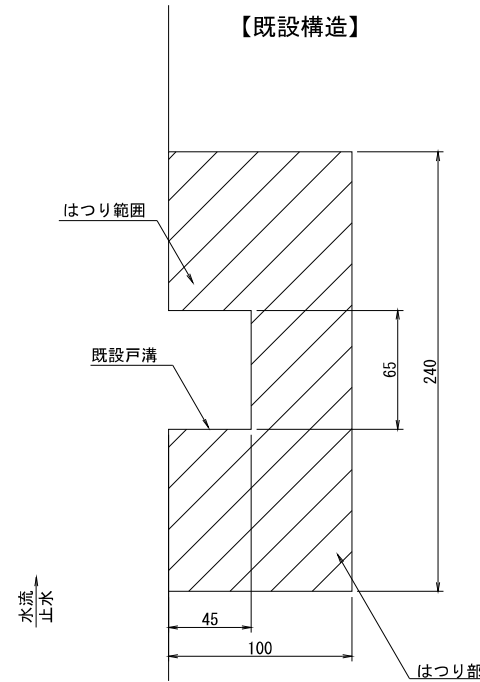
【新設構造】



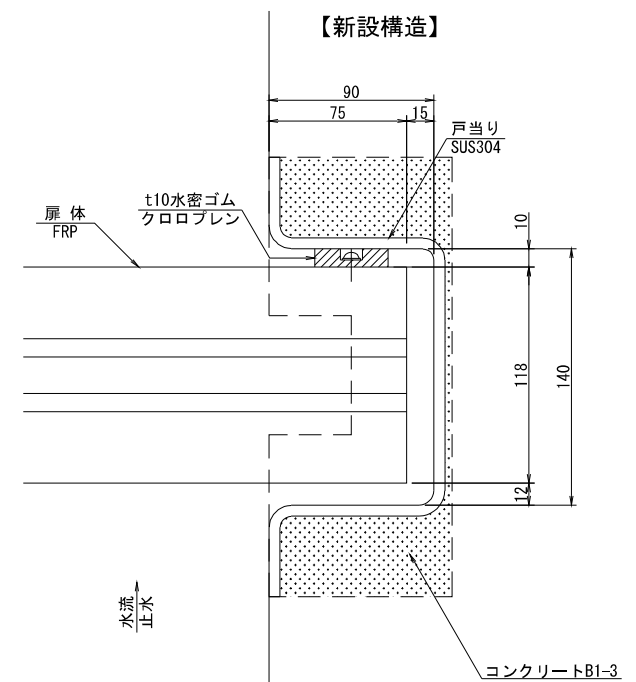
正 面 图 S=1/10



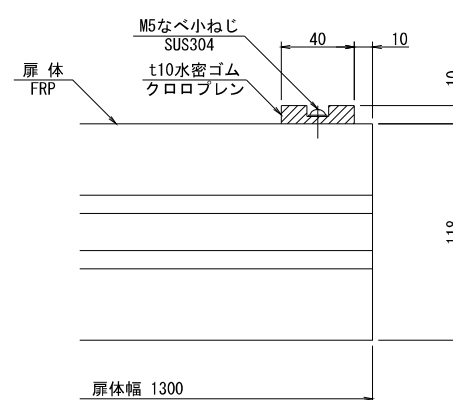
【既設構造】



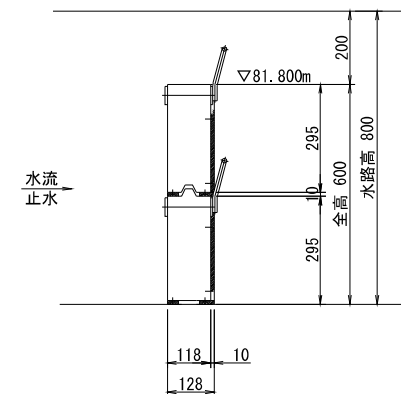
【新設構造】



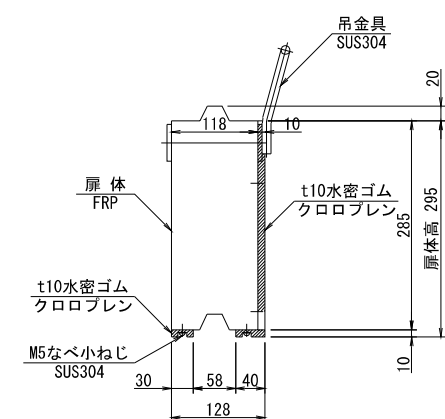
断面 A-A S=1/2



側断面図 S=1/10



扉体断面図 S=1/5



注)図示の縮尺はA1出力時

	工事		
図面の種類	下流堰構造図		
縮 尺	図示	図面番号	1/1
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所		